

## 第9回 桜井市総合計画審議会 議事要旨

令和2年11月16日(月) 午後2時～3時

場所：西分庁舎 災害対策本部室

### 1. 開会

#### ○事務局

- ・これより、第9回桜井市総合計画審議会を開催させていただく。  
本日、委員19名中18名の出席を頂けたので、総合計画条例第13条より本審議会が成立していることをご報告させていただく。  
それでは、初めに伊藤会長よりご挨拶いただく。

#### ○伊藤会長

- ・当審議会もいよいよ大詰めになってきた。  
これまで熱心に協議いただき、よい計画に仕上がってきたと思う。  
本日は最後の審議会であり、さらに皆様より意見を賜りたい。  
新庁舎も形になってきたようで、来年の6月には竣工する。  
総合計画も来年度からスタートということで、ハード、ソフトともに桜井市が良くなるように願っている。  
今日はよろしく願いたい。

### 2. 議事

- (1) パブリックコメントの結果と対応について事務局より説明を行った。

#### ○伊藤会長

- ・今説明があったが、何か質問や意見はないか。  
(質問・意見なし)

- (2) 第6次桜井市総合計画答申(案)について

新旧対照表を用いて事務局より説明を行った。

#### ○伊藤会長

- ・今説明があったが、何か質問や意見はないか。

#### ○福本委員

- ・子どもの「とも」の記載であるが、桜井市の条例もそういう方向で動いていると聞いた。学校等ではひらがなを使っている。整合性について聞きたい。

#### ○事務局

- ・「子供の貧困対策に関する大綱」については、法令で決まった標記のため漢字表記、ほかの表記については、桜井市でも通常は子どもとひらがなで表記しているので、その他については、ひらがなで表記するというように使い分けたい。

第6次桜井市総合計画の答申（案）について事務局より説明を行った。

○事務局

- ・本日審議いただき、内容に問題が無いようであれば、明日、伊藤会長より松井市長に答申していただきたいと考えている。

○伊藤会長

- ・内容について何か質問や意見はないか。

○我妻委員

- ・答申の最後に適切・着実という文字があるが、予算の編成、執行がすべてである。令和3年度、予算はこれから組んでいく必要がある。来年の4月以降について、どのような予算を組んでいくのか。どのような事業を中心に予算編成していくのか。

○事務局

- ・10年間の総合計画ということで、明日答申を受ける。それに基づいて来年度からこれに基づいて施策を展開していく。地方創生の分野で、まち、ひと、しごと創生総合戦略のほうも今後5年間どうしていくかという予算もある。

総合計画を作るに際して、コロナの影響で9月議会への上程が12月議会へとずれたように、世の中の予測も立たなくなってきた。インバウンドに力をいれてきたが、今後の見通しができない中で、財政状況が厳しく、予算執行を見直すところもでてくると思う。この実現のために、財源の確保を含め、整合性をもってやっていきたい。

総合計画は作るのがゴールではなく、これからがスタートである。

これまで、審議会委員の立場でご意見をいただいたが、今後は進捗状況をPDCAサイクルで評価していくことも大事である。これからもいろんなご意見をいただければと思う。

ご質問に対する具体的な回答が難しいが、そういう所存でいきたい。明日の答申後も市長とそういう方針で進めていきたい。

○伊藤会長

- ・来年度の予算は厳しく、不確定なところがあり、本当に着実に進めていけるか課題がある。適切、着実という部分を理解していただき、メリハリのある予算建てを要望しておきたい。
- ・他に何か質問や意見はないか。

(質問・意見なし)

### 3. その他

○事務局

- ・本日は、総合計画の委員としてお集まりいただき最後の機会になった。本日も慎重かつ、熱心に審議いただき、ありがとうございました。

また、策定期間中の役職の交代等により、この場にお見えにならない方にも、大変お忙しいなか、第1回審議会から1年9カ月、ほぼ2年間、携わっていただきありがとうございました。一般公募の4名の方もありがとうございました。

総合計画は、今後の10年間のまちづくりの方向性を示すものとして非常に大切である。福祉、教育をはじめ、まちづくりのあらゆる分野の方向性を示すものであり、新型コロナ、災害など予測困難なことに対する指針も示している極めて重要な計画である。

合計9回の審議会の場を設け、様々な意見、提言をいただいた。

それらの意見、提言は可能な限り、総合計画のなかに反映させていただいた。

将来像である、「はじまりの地から未来へ 歴史と自然がいきづく万葉のふるさと桜井」の実現、また、桜井の市の将来を担う子供たちに将来を担ってほしいという思いをこめて作らせていただいた。

委員の皆様には、進捗状況について、貴重なご意見、チェックをいただければ幸いである。大所高所の立場から、今後ご指導いただきたい。

伊藤会長、委員の皆様には本当にお世話になりました。

伊藤会長には、明日の答申をよろしくお願ひしたい。

お礼と感謝を申し上げ、挨拶としたい。

以上